

⑧ 国道106号 宮古西道路田鎖トンネル他工事 三井住友・本間・中村特定共同企業体



写真-1 (仮称)閉伊川横断橋

1 目的・概要

宮古西道路は、岩手県が直轄事業として整備を進める宮古中央ICから盛岡方面へ向かう国道106号線の地域高規格道路です。本工事では、(仮称)田鎖トンネル(全長326m)、(仮称)閉伊川横断橋(全長 430.5m)の下部工6基橋台2基、道路改良(全長509m)を平成30年7月まで施工中です。



図-2 宮古西道路平面図



2 現場を支える技術 ～ ICT を活用した施工管理 ～

田鎖トンネル他工事は、トンネル、橋梁下部、道路改良と多岐にわたる工種を約 1.3km の工区内で施工しました。そのため、現場を管理する社員の負担低減とゆとりある労働時間を確保するため、各分野の最新の ICT (Information and Communication Technology) 技術を導入しました。トンネルでは、トンネル三次元計測システム(図-3)、道路改良の丁張り作業や、橋梁下部の杭芯出し測量では、GPS 測量システム(図-4)、を活用し現場管理に要する作業時間及び内業時間を約30%(独自集計による)削減することができ、労働時間短縮につながりました。



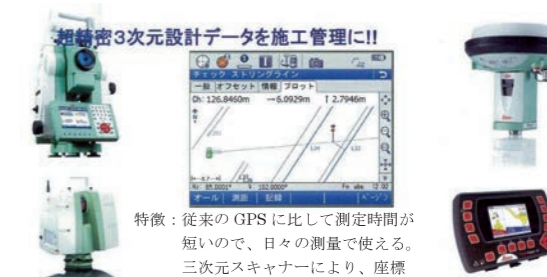
写真-2 トンネル掘削状況



写真-3 橋梁下部 杭芯出し作業状況



図-3 トンネル三次元計測システム 概要



特徴：従来の GPS に比べて測定時間が短いので、日々の測量で使える。三次元スキャナーにより、座標計算が不要。

図-4 GPS 測量システム 概要

3 工程・スケジュール、現場の見頃

	平成28年度												平成29年度												平成30年度							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
【田鎖トンネル】																																
トンネル工 (NATM)																																
橋梁下部工																																
道路改良工																																
片付け																																

KEY PERSON

田鎖トンネルは、私が赴任した直後の10月4日に貫通しました。それから半年、様々な工種で最新の ICT 技術を使って(使われている気もしますが)、レベルアップを実感する日々を送っています。現場は仕上げのラストパートに入っていますが、気を引き締めて無事故無災害で東北復興の一助になれるよう、日々精進していきます。



三井住友・本間・中村特定共同企業体 田鎖トンネル作業所

井上 勇希(23歳)

連絡先
一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部
仙台市青葉区本町2-2-3 TEL 022-221-7810 FAX 022-265-9465